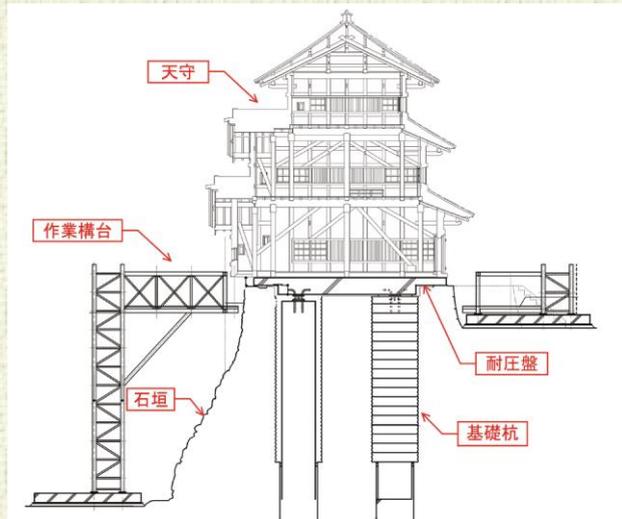


弘前城石垣修理

第27回 ～弘前城天守曳戻しに向けて～

今年の秋頃、文化7（1810）年に再建された重要文化財の弘前城天守が、約11年ぶりに本来の位置である本丸南東隅の天守台に戻ります（※1）。



▲（※1）曳戻し直後のイメージ図（図面右が西、天守入口）

この天守曳戻しに向けて、現在、天守基礎の耐震補強工事を行っています。天守基礎の耐震化は、本丸南東隅の天守台に直径2メートル、長さ約35メートルの基礎杭を4本設置するものです（※2～4）。



▲（※2）基礎杭設置箇所の発掘調査終了後の様子



▲（※3）基礎杭設置箇所掘削状況（東から）



▲（※4）鋼管の設置状況

この工事に伴い、天守を支える基礎杭と耐圧盤を設置するため、鉄骨を組み上げた作業構台を設置しています（※5・6）。この作業構台は、天守曳戻しだけではなく、その後の天守本体の耐震補強と保存修理工事の際にも活用します。これら全ての工事を終え、内部を公開できる安全性が確認でき次第、作業構台を撤去し、内濠を復旧する予定です。



▲（※5）組立中の作業構台（本丸から天守台を望む）



▲（※6）作業構台（下乗橋から天守台を望む）

現在、天守曳戻し工事の準備として、本丸南側に仮設通路を設置し、天守内部の養生や仮補強用の鉄骨を取り外す作業等を行っており、今年の「弘前さくらまつり」後には曳戻しに向けた作業を開始し、11月には曳戻しを完了させたいと考えています。

なお、これら天守本体に関する工事に伴い、天守の内部公開は令和14年度（予定）まで休止となります。また、令和10年夏以降は、天守全体をシートで覆っての作業となるため、外観を直接見るができなくなる予定です。詳しくは弘前城本丸石垣修理事業のホームページをご覧ください。

市ホームページには、弘前城本丸石垣修理事業の詳細や弘前城跡の文化財修理・史跡整備情報『弘前城かわら版』を掲載しています。ぜひご覧ください。

問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前市緑の相談所内、☎33-8739）



▲弘前城本丸石垣修理事業



▲弘前城かわら版